



## 避難訓練(地震)

大正12年(1923年)9月1日に発生し、死者・行方不明者105000余人という大惨事になった関東大震災を教訓とするため、9月1日は「防災の日」と制定されています。近年における地震を中心とした災害では、平成7年(1995年)1月17日に発生し、死者・行方不明者6437人という人的被害であった阪神・淡路大震災、平成23年(2011年)3月11日に発生し、死者・行方不明者22325人という人的被害の東日本大震災、平成28年(2016年)4月14日の熊本地震、本年1月1日の能登半島地震などがあります。先日も宮崎での地震により南海トラフ地震臨時情報が出され、皆さんもご家庭の防災グッズを見直されたのではないのでしょうか。今、この瞬間にも大震災が起こってもおかしくない状況だと言えるのだと思います。

どこの学校・園でも、地震に対する避難訓練をしているかと思いますが、本園では9月19日(木)に地震に対する避難訓練を実施しました。他の月にも地震や火災などに対する避難訓練は実施していますが、今回の避難訓練では、幼稚園の敷地内にも危険が迫ったという想定で、すずか幼稚園では龍光寺境内へ、第2すずかきしおか幼稚園では岸岡山緑地公園へ避難をするという計画を立てました。

当日の避難訓練の流れは、「東海地方に大きな地震が発生しました」という放送により、第1次避難として机の下にもぐったりダンゴムシのポーズをとったりします。「大きな揺れがおさまりました。外へ避難します」と放送により、すずか幼稚園では園庭に、第2すずかきしおか幼稚園では駐車場に第2次避難し、人員点呼をします。その後、「園の敷地が危険になりました」とのことで上記の場所への第3次避難となりました。

暑い日中ですので、体調にも気をつけながら真剣に訓練をすることができました。

東日本大震災の際に津波から子どもたちを救ったと言われる「釜石の奇跡」では、避難訓練の重要性が実証されていますので、本園も避難訓練を重要視していきたいと思っております。

なお、本園では、地震や津波などの大きな災害が発生し、園舎内にて過ごすことになった場合のため飲料水と非常用食料品を備蓄するとともに、対応に関しては「地震・津波等の災害対策マニュアル」を策定しております。



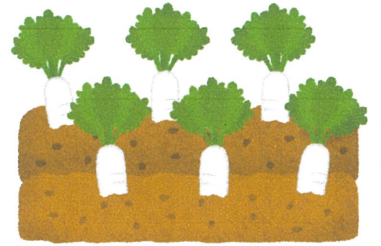
## 大根の種まき

本園では、食育の一環として園の畑で野菜を育てています。春から夏にかけては「夏野菜」を育て、秋から冬には「大根」を育てます。

大根を育てるには、小さな種を3粒ほどを1.5cmほどの穴に入れ、水やりをしていると2~3日で発芽してきます。子葉が完全に開いた頃に間引きをし、しっかりしたものだけに育てます。9月に種まきした大根は、12月頃には大きく育ち、1月に収穫します。

夏野菜を片付けた園の畑に肥料を入れて耕して準備を終え、9月19日(木)にはすずか幼稚園で、24日(火)には第2すずかきしおか幼稚園で「大根の種まき」を行いました。

子どもたちは、配ってもらった大根の種を大事に握りしめ、畑に開けられた穴に入れて、「土のお布団」をかけていました。子どもたちの大根が大きく育つことを願いたいものです。



## 大型総合遊具(すずか幼稚園)

すずか幼稚園にこれまで設置されていた大型総合遊具が老朽化してきたため、このたび新しい総合遊具を設置しました。「PLAY COMMUNICATION」という名前の遊具で、遊具での遊びを通して、子どもの成長に大切な5つの要素がバランスよく身につくことを目指すものということだそうです。



夏休み中に古い遊具を撤去し新しい遊具を設置する工事を終え、9月4日(水)にお披露目式を行い、その後、学年ごとに分かれて新しい遊具での遊びを楽しみました。今後、第2すずかきしおか幼稚園の子どもたちもすずか幼稚園に来た際には遊ぶ機会もあるかと思っております。

